(第7号書式-3)

工事請負契約書

1. 工事の目的 工事番号 第1908-0-21号
会津大学(研究棟北棟・学生ホール)屋上防水改修工事
2. 工事の場所 会津若松市一箕町大字鶴賀字上居合 地内
3. 工期 着工 年 月 日
完成 2019年12月10日
4. 工事請負代金の額 金 _____ 円也
うち取引に係る消費税及び地方消費税の額
金 _____ 円也
5. 契約保証金 金 _____ 円也

上記の工事について、発注者 公立大学法人会津大学 と、受注者 _____ は、
会津大学工事請負契約約款(以下「約款」という。)の各条項及び別に発注者が指示する設
計図書に基づいて、請負契約を締結する。

上記契約の証として、本書2通を作成し、当事者記名押印の上、それぞれ1通を保有する。

年 月 日

(発注者)

福島県会津若松市一箕町大字鶴賀字上居合90番地
公立大学法人会津大学
理事長 岡 隆一

印

(受注者)

印

特約条項

- 第1 約款第37条第1項ただし書きの表中請負代金の額2,000万円以上の場合、発注者と受注者が協議して定める回数は3回(中間前払をする場合は2回)とする。ただし、第1項の部分払を請求する場合にあっては4回とする。
- 第2 受注者は、受注者の申請に基づき発注者が認める場合、発注者、福島県又は市町村が発注し受注者が受注している他の工事(以下「他の工事」という。)の現場代理人をこの工事の現場代理人とすることができる。この場合において、約款第10条中第2項中「工事現場」は、この工事の工事現場と当該他の工事の現場を通じて一の工事現場とみなすものとする。なお、受注者の申請及び発注者の承認は文書により行い、発注者は承認の際に必要な条件を付すことができる。
- 第3 約款第36条に次のただし書きを加える。
2016年4月1日から2020年3月31日までに新たに請負契約を締結する工事に係る前払金で、2020年3月31日までに払出しが行われるものについては、前払金の100分の25を超える額及び中間前払金を除き、この工事の現場管理費及び一般管理費等のうちこの工事の施工に要する費用に係る支払いに充当することができる。
- 第4 約款第25条第1項の規定による請求があった場合においては、同条第2項中「物価」とあるのは「物価(社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための消費税法の一部を改正する等の法律(平成24年法律第68号)による改正後の消費税法(昭和63年法律第108号)の適用による消費税の税率の改正による消費税の増加額相当分及び社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための地方税法及び地方交付税法の一部を改正する法律(平成24年法律第69号)による改正後の地方税法(昭和25年法律第226号)の適用による地方消費税の税率の改正による地方消費税の増加額相当分を除く。)」として同項を適用する。
- 第5 2019年10月1日の前日までに請求を受けた前金払及び中間前金払については、約款第34条第1項、第3項、第6項、第7項及び第8項中「請負代金額の」とあるのは「請負代金額(当該請負代金額に110分の2を乗じて得た額を除く。)」の」としてこれらの規定を適用する。
- 第6 2019年10月1日の前日までに請求を受けた部分払金の額の算定については、約款第37条第1項中「請負代金相当額」とあるのは「請負代金相当額(2019年度における第37条第5項の規定による部分払の請求にあっては、当該請負代金相当額に110分の2を乗じて得た額を除く。)」と、「請負代金額の」とあるのは「請負代金額(2019年度における第37条第5項の規定による部分払の請求にあっては、当該請負代金額に110分の2を乗じて得た額を除く。)」の」と、同条第6項中「請負代金額」とあるのは「請負代金額(2019年度における第37条第5項の規定による部分払の請求にあっては、当該請負代金額に110分の2を乗じて得た額を除く。)」としてこれらの規定を適用する。